

令和4(2022)年度栃木県農業大学校評価シート

目指す方向 魅力ある農大づくり ～農大の価値を高め、農大への人の流れを作ろう！～

重点目標	現状と課題	評価項目	具体的方策	経過・達成実績	達成度	次年度の課題と改善方向
		評価指標				
3 進路指導の強化	<p>(現状)</p> <p>○R3卒業生の雇用を含めた就農率(研修後就農を含む)は36.8%と、R2卒業生の24.5%とやや持ち直したが、就農率の低下傾向は継続している。 なお進路決定率は86.8%となった。</p> <p>○全入学者に占める非農家出身の学生の割合が、6割を超えている。</p> <p>○農業法人等からの求人も増加し、雇用就農を希望する学生も増加しているが、希望する部門と求人が必ずしもマッチしない。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症に伴う社会や経済への影響により、就職活動は停滞傾向にあり、学生の進路選択にも影響が懸念される。</p> <p>(課題)</p> <p>●大学校の設置目的を踏まえ、就農への誘導等にしっかりと取り組み、就農率の向上を図る必要がある。</p> <p>●非農家出身者でも就農や農業関係団体への“就職に強い進学先”としての評価を高めるため、進路決定率100%を達成していく必要がある。</p>	就農率 60%	<p>(1)進路希望の把握と的確な進路指導</p> <p>○個別面談の充実</p> <p>・進路希望の把握と進路決定の早期意識付けを図るため、1年生及び2年生ともに年度の早い段階で指導担当職員を中心に個別面談を実施する</p> <p>・各学科のリーダーや専攻職員など担当内職員が進路に係る指導ができるよう職員間の連携と情報共有を図り、学生ごとの進捗状況に応じた就職活動を支援する。</p> <p>・親元就農、雇用就農及び独立就農を希望する学生には、就農情報把握や就農コーディネーター指導など学生への情報提供を強化する。</p> <p>○就農希望者への支援の充実</p> <p>・就農後、円滑に経営や雇用就農を開始できるよう、本校学生の進路情報等と地元農業振興事務所の就農情報等を共有していく。</p> <p>○編入希望者への支援</p> <p>・編入希望学生の合格率を向上させるため、大学編入試験情報の随時提供や合格者等との意見交換会等を実施し、編入試験対策の支援を行う。</p> <p>○資格取得の支援</p> <p>・資格取得の意欲向上及び取得率向上を図るため、就農・就職に有利な資格取得情報の提供や資格取得講座の開催及び受講を勧めるなど資格取得の支援を図る。</p>			<p>○個別面談の充実</p> <p>○就農希望者への支援の充実</p> <p>○編入希望者への支援</p> <p>○資格取得の支援</p>
		進路決定率 100%		<p>(2)就農イメージの早期確立</p> <p>○就農促進講座等の活用</p> <p>・就農及び雇用就農している本校卒業生を講師に招き就農促進シンポジウムを開催するとともに、農業法人等とのマッチングを図るため雇用就農相談会を開催するなど、就農意欲を高めるための情報提供、意見交換の場を設定する。</p> <p>・就農促進研修会で出身地の農業振興事務所職員との面談により、進路希望を明確にするとともに希望に即した先進的経営体実習を実施する。</p>		○就農促進講座等の活用

